

# 企業倫理・コンプライアンス基本コース

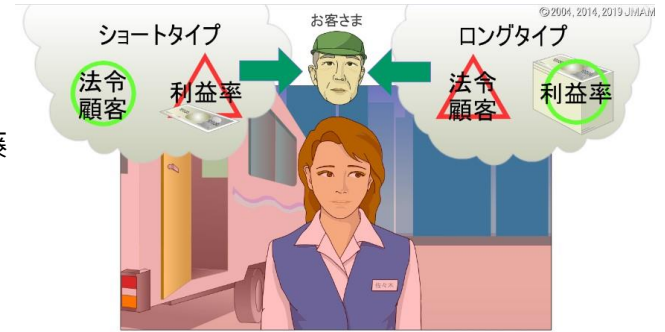
**ビジネス界の実情を踏まえた企業倫理実践の難しさを扱い、  
現実レベルでの意識改革・行動改善を促します。**

起きてしまった企業不祥事の原因は大きく次の3つであると考えられます。

- ①「知らなかった」→知識不足
- ②「知っているけど、やめられなかった」→「個人の倫理」と「享受する利益」の天秤
- ③「やりたくなかったが、やらざるを得なかった」→「個人の倫理」と「組織の倫理」の葛藤

本コースでは、①に対しては、気づきにくい法令違反を分かりやすく提示します。

②③に対しては、その場の自身の利益、組織の倫理を優先することの結果を提示し、自分自身ができることを考えていきます。



## <本コースのねらい>

- 組織の悪しき慣習に対したるべき行動や気づきにくい法令違反をわかりやすく提示し、社会から信頼される組織づくりを促します。
- 日常業務でも起こりそうな事例やセルフチェックを通し、一人ひとりが当事者意識をもって「企業倫理・コンプライアンス」について考えます。

## <コースカリキュラム>

第1章 企業活動とコンプライアンス	1-1 企業倫理・コンプライアンスにまつわる事例 1-2 企業倫理とコンプライアンス
第2章 日常活動におけるコンプライアンスの課題	2-1 コンプライアンスを実践するために 2-2 「情報」の視点で考える 2-3 「労働」の視点で考える 2-4 「取引」の視点で考える 2-5 「環境」の視点で考える
第3章 葛藤を乗り越える	3-1 <ステップ1>葛藤と向かい合う 3-2 <ステップ2>何ができるか考え、一步を踏み出す 3-3 <ステップ3>成長に結びつける 3-4 ワークシート「葛藤を乗り越える」 3-5 個人には限界がある 3-6 組織に定着させるために

## <概要>

受講対象者	ビジネスパーソン全般
監修	● 梅津光弘 慶應義塾大学 商学部 准教授 ● 中村葉志生 株式会社ハリートカンパニー 代表取締役
仕様	● 想定学習時間：3時間 ● 最短実行時間：48分 ● テスト数：1（全25問）